

伊香具小学校からの報告

活動団体名： 伊香具小学校

活動人数： 18人（教員2名）

取組時間： 総合的な学習の時間

調査内容 1回目：5月12日（金） 余呉川大音用水路  2回目：5月26日（金） 草野川 
3回目：10月6日（金） 余呉川大音用水路 

伊香具小学校では、毎年、3・4年生がこの水生生物少年少女調査隊に入隊し、大音の町の中を流れる川を中心に調査活動を行っています。網やざるを使い、魚や水生生物を見つけて仲間分けをしたり、水質を調べたりしました。湖北野鳥センターの所員さんに講師として来ていただいて、調査の仕方や詳しい生き物の仲間分けの仕方をアドバイスしていただきました。今まで気づかなかったたくさんの小さな生き物を採集できました。2回目は、草野川の上流で調査活動をしました。場所によって、水生生物の違いを感じることができました。それぞれの調査の結果から、大音の川の状態について考え、ザリガニ取りや川の清掃活動をしました。3回目は、秋に調査活動し、季節やザリガニ取り、川の清掃活動による生き物の変化を考えました。在来種のヤナギモやエビが春より増えたことに気づきました。調査の基本となる水温と気温、川幅と水深、流れの速さを確認し、小さな生き物を見逃さないよう、進んで生き物を探していました。



調査員の感想

大音の川はきれいだと思っていたけど、COD できたないと分かっておどろきました。夏は魚がとれなかったけど、秋はたくさんとれました。タナゴや大きな魚がとれてうれしかったです。みんなで力を合わせて、生き物を採集できました。もっと大音の川にいる生き物のことを知りたいです。

捕まえた生き物たち

- 【1回目】シジミ類、カワニナ、ミズムシ、サカマキガイ、ヤゴ、ヌマエビ、アメリカザリガニ
- 【2回目】カワゲラ類、トビケラ類、ヒラタカゲロウ類、ブユ類、ヘビトンボ類、ガガンボ類、サワガニ、カゲロウ類
- 【3回目】サワガニ、シジミ類、カワニナ、ヤゴ、ヌマエビ、シマゲンゴロウ、アメリカザリガニ、魚類



調査のまとめ

1回目の調査分類では、カワニナなどのきれいな水にいる生き物と、ミズムシなどのよごれた水にいる生き物が混じっていました。2回目の調査分類では、きれいな水にいる生き物をたくさん見つけられました。3回目では、春と違う生き物を見つめることができました。

【これまでの調査から分かったこと】

- 年によって違う種類の生き物が見つかりました。
- 季節を変えて調査すると、違う種類の生き物が見つかりました。
- 水質は、「少し汚れている」という結果で、ここ数年変わっていません。



活動の様子



【川全体の様子】



【藻の様子】



【COD 調査】



【水生生物採集の仕方】



【水生生物採集の様子】



【分類している様子】



【水生生物】



【採集した魚】

